

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス こどもプラス みやき教室			公表日 2026年3月16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	教室内、運動するスペース、落ち着いて活動する部屋など様々な用途で活用できるようスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用定員に沿って配置している。ケガや事故のないよう見守りを重視しているがまだ不十分。	見守りに特化した安全で安心した時間を提供していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	ほぼバリアフリー。それぞれの教室の扉に何をするとこわかかりやすく明記している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	利用時以外でも室内の換気や消毒、日ごろの掃除や整理整頓など心地よい環境づくりを重視している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて個別に利用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日のミーティングで振り返り、意見の出し合いなどみんなが参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	送迎時や電話やメールなどで意見を聞いて改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日のミーティングで振り返り、意見の出し合いなどみんなが参画している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	年に1回の自己評価を行い、外部に公表している。	業務改善に繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	FC研修や運動研修など定期的に研修の機会はある。	まだ少ない方なのでもっと増やしていけたらと思う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	担当や保護者との話しにて意見やニーズを聞き、取り入れている。	アセスメントの場をもっと増やしていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	計画書の作成後に会議を開き、支援内容の説明、検討を行っている。	情報共有に努めて支援の統一化を図っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎日の支援内容提供時に計画に沿った支援になるよう考慮している。	情報共有に努めて支援の統一化を図っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	アセスメントシート、日々の支援内容報告など状況の把握に努めている。	もっと掘り下げたツールが必要な時もある。詳しく記入して把握していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	保護者のニーズに沿って5領域に当てはまるような支援目標に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	職員間で話し合っている作成している。	情報共有できていない場面もあるので共有できるように努めていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	運動遊びなどは日々その日の児童に合わせたプログラムを考えて実践している。	合っている合っていないの情報収集に努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	一人一人のニーズに合った個別課題や集団活動に取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	送迎前にミーティングを行い、その日の役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	振り返りは必ず行っているが、その日のうちに毎日というのが難しい。次の日に行うことが多い。	業務終了時にできる限り行っていきたい。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	提供内容報告や活動日誌を毎日記録して情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切に見直しを行っているか。	5	0	6ヶ月ごとの見直し、モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	「自立支援と日常生活充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」総合的に組み合わせている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自己選択、自己決定の支援を前提としている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管が必ず出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	情報共有に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	利用前に情報交換を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	現在のところ、移行なし。	今後移行する場合のために準備を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	支援会議などで機会はあるが、全員に浸透できていない。	今後全職員に浸透できるような体制を整えていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	他教室や地域の公園などでの交流はあるが児童クラブなどの完全な他児童との交流は少ない。	今後は地域密着を心掛けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	自立支援協議会への呼びかけはしているがなかなか参加には至っていない。	今後は積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	利用時に連絡帳作成し、送迎時にその日あったことを詳しくお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族支援プログラムなどの情報提供の場などはないが、面談はできている。	ペアレントトレーニングなど興味はあることから徐々に始めていければと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者の意見、本人の意思の尊重を重視している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	随時相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4	父母の会、保護者会の支援はできていない。	依頼等あれば要望を聞いて支援していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情相談窓口を設置している。	現座のところ苦情はなし。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	HPに記載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報に関する同意書をもらっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	絵カードの作成や視覚を通しての声掛け。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	近隣住民への説明が足りていなくて、何度か訪問や質問があった。	近隣住民への挨拶や説明を行い交流ができた。。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に報告書を作成、訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを作成して玄関へ提示している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	てんかん発作に関する勉強会を開いて、対応マニュアルを作成、周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	現在、特化したアレルギーの児童なし。	アレルギーに関する勉強会の階差を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に基づき月間のテーマに応じた研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	お便りやHPにて発信している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットの周知と対策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	身体拘束に関する研修を行っている。現座のところ身体拘束の事例なし。	今後も定期的に研修をおこない、周知していく。